

令和7年（2025年）3月14日

北海道教育委員会教育長 様

北海道枝幸高等学校長 小 原 茂

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

|  |
|--|
| 地域唯一の高校として、地域と学校がともに学ぶ取組をとおして、本校教育の質の維持・向上を図る。 |
|--|

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目                        | 自己評価の結果  | 学校関係者評価の結果   |
|-----------------------------|--|--|
| スクール・ミッション<br>スクール・ポリシーについて | 保護者や地域の皆様からのご支援により、スクール・ミッションの実現に向けて、概ね適切に学校運営が行われた。<br>特に、学校運営協議会を設置して2年目を迎え、保護者、地域住民及び学校運営協議会委員の方々のご尽力により、生徒のために多様な教育機会を創出することができた。  | 全体的に適切である。特に、地域行事等へのボランティア参加等から、枝高生の成長の様子を伺うことができる。<br>生徒の多様な進路希望に応える教育課程の編成、進路指導情報の提供を願う。                       |
| 改善方策                        | 1. 「枝幸町で育てたい人物像」とスクール・ミッションの実現に向けて、より一層地学協働を推進する。<br>2. 学校と保護者、地域住民との情報共有の工夫を図る。   |  |
| 家庭・地域との連携について<br>(Q.1,2)    | 毎月1回学校だよりを発行し、町広報誌に掲載しているが、既刊済みの学校だよりのHP掲載、HPとSNSを活用した教育活動の発信に課題がある。   | 地域との連携については、昨年以上の取組と成果が感じられる。公式フェイスブックの運用には期待が持てるが、情報発信力には引き続き課題がある。   |
| 改善方策                        | 1. 学校HP・フェイスブック・noteを組み合わせた情報発信や広報活動について、教員によるプロジェクトベースで推進する。<br>2. 授業公開や進路説明会等、保護者の方々に参加・協力いただきたい学校行事について、事前にスケジュールをお知らせするなど工夫を継続する。  |  |
| 学習指導について<br>(Q.3,4,5,6)     | 地域を学びのフィールドとした総合的な探究の時間「えさし探究」においては、関係各位の協力により、内容の充実・刷新が図られており、郷土愛や自己肯定感の向上等に資する取組となっている。<br>また、定期考査の見直しを含め、子どもたちに求められる学力の育成と望ましい学習習慣の確立には課題がある。   | 定期考査の目的、意義については多様な考え方があることを理解した上で、実施の見直しを含む評価等に関する事項について、保護者等にも理解と協力を求めることが考えられる。<br>また、オンライン学習等についても、引き続き充実を願う。 |
| 改善方策                        | 1. 定期テストの一定の成果を理解した上で、令和7年度から定期テストは学期末のみ（1・2年は前期末と後期末の2回、3学年は前期末の1回）とし、小テストや単元テスト、パフォーマンステストやレポート等多様な評価により、学習習慣の形成と基礎学力の向上を目指す。<br>2. 各学年、各分掌から発信される情報について、内容と機会を充実する。<br>3. google classroomや枝幸町支援による教育系アプリを導入・活用し、雪害や感染症拡大防止時等を含め、引き続きオンライン授業の機会充実と授業改善を進める。 |  |
| 生徒指導について<br>(Q.7,8,9,10,11) | 昨年度同様、今年度も1件のいじめを認知し、対応している。引き続き、生徒が安心して登校できる学校づくりを目指すことが必要である。「学校いじめ防止基本方針」を不断に見直し、いじめ見逃しゼロに向けて、組織的に取り組むことができた。また、生徒数減による各種活動への影響について懸念がある。   | 学校のいじめ対応については、未然防止に向けて適切に対応願う。<br>また、昨年同様、生徒の活動については広く地域との交流につながることを期待する。  |
| 改善方策                        | 1. 外部講師を招聘し、生徒の学ぶ意欲を高める魅力ある授業に努める。<br>2. 本校が育てたい人物像を目指し、保護者の方々や生徒の声に真摯に耳を傾け、対話を通じて一人一人の生徒の成長を支援する。<br>3. 定期的にいじめアンケートを実施すると共に、HR担任や教科担任、養護教諭、部活動顧問等、多様な視点と関わりの中でいじめ見逃しゼロを目指し、一人一人の生徒と向き合う。   |  |
| 進路指導について<br>(Q.12,13,14,15) | 多様な進路希望に応える指導の充実が図られているが、中堅学年（2学年）における進路指導の改善・充実が必要である。学年毎の教育目標の実現に繋がる適切な機会設定が課題である。   | 3者面談等、生徒を中心に保護者と学校が適切に情報を共有する機会について、積極的に設定願う。<br>また、引き続き、生徒自身が成長を実感することができる進路指導の充実を期待する。                         |
| 改善方策                        | 年度当初に3者面談の実施スケジュールを示し、生徒の進路希望の実現に向けた保護者の方々との連携を密にする。   |  |

## 3 添付資料

・[枝幸高] R6 学校評価アンケート集計